

南医療生活協同組合の病院・診療所・施設を利用された皆様

当施設では、下記の研究を実施しています。この研究の対象に該当する可能性のある方で、診療情報などを研究目的に利用することを希望されない場合は、問い合わせ先にご連絡ください。尚、研究にご協力いただけない場合にも不利益はありませんのでご安心ください。  
なお、最終まとめ直前など、時期によっては参加の取り下げができない場合もあります。

研究課題名	入院患者における退院期間短縮およびADL維持のための取り組みの検証
研究責任者  共同研究の場合： 他施設の責任者	安藤新人 長田芳幸
研究の目的  研究の概要	南生協病院では急性期から慢性期患者の受け入れを広く受け入れている。入院患者の一部には疾患の治療だけでは入院期間が延長される例が多数みられる。入院期間の延長は患者本人の日常生活を送るために必要な基本的動作や活動の基本的能力（ADL：Activities Daily Living）の低下を招き、元の生活レベルへと退院することを困難にすることが一般的に示唆されている。  2016年4月から2025年3月までの10年間の入院患者会計におけるレセプトデータ（DPC：Diagnosis Procedure Combination・診断群分類）を用いて、疾患、治療介入の何が、当院入院患者の長期入院例や退院先の変更される患者に影響を与えるのかを後方視的に統計解析にて検証する。
該当期間	2016年4月から2025年3月までの10年間
研究対象者 利用する項目	DPC様式1に記載されている入院患者の疾患、年齢、入院経路（救急車・外来）、入院期間、各種介入、保険等を利用する。また、特徴的な経過については、カルテ情報からより具体的な病歴を抽出する。
個人情報の取り扱い・扱う者の範囲	解析者のみ・組合のみで行い、多施設での情報共有は行わない。
研究の資金源 （利益相反）	なし
問い合わせ先	安藤新人：052-625-0373 医局事務局：ikyoku-jimukyoku@minami.or.jp